

SHO-BOND

伸縮装置補修工法

伸縮装置や目地遊間部の漏水対策

SHO-BOND

EJシール工法

EJ Seal Method



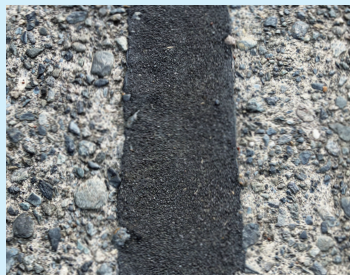
ゴム製伸縮装置の止水部の補修材です。
アスファルトやコンクリートの目地遊間部などにもお使いいただけます。

▶ 特長

- 伸縮追従性に優れます。
- ノンサグ性があり、垂直部分にも型枠不要で施工できます。
- 促進剤※の併用により、硬化時間の短縮が可能です。



▲ 既設ゴムの変状例



▲ EJシール工法の施工後

▶ 荷姿

- EJシール 5kgセット
主剤：4.615kg
硬化剤：0.385kg
- フィンガーシールプライマー：1kg
- EJシール促進材※：18g



※促進剤はオプション販売です。

■補修工学®—— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

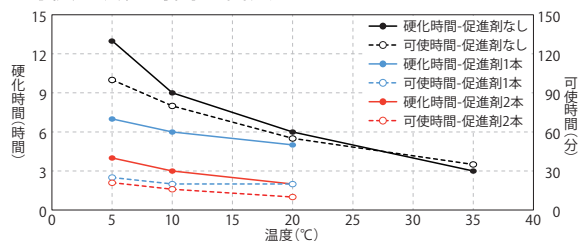
適用条件

- 適用可能遊間：10mm～100 mm
- 許容伸縮率：±60%

使用方法

- ① EJシールは、主剤と硬化剤のセットになっており、使用時に混ぜ合わせます。
- ② 主剤と硬化剤の配合は12：1の重量比です。
- ③ 計量した主剤と硬化剤は、主剤缶または丸缶内で攪拌機で十分に混合してください。
- ④ 缶の壁面付近の混ぜ残りがないように、別の攪拌容器に移し替えて再度混合攪拌します。
EJシール促進剤（オプション販売）を併用する場合は、ここで添加します。EJシール促進剤は、最大2本まで添加することができます。
- ⑤ 混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間（表参照）を確認の上、時間内に使い終わる量を混合してください。

■ 可使・硬化時間の目安



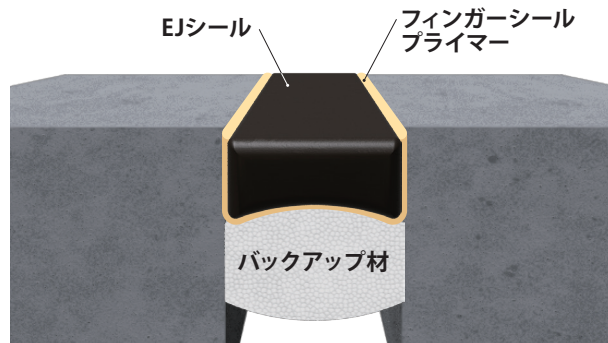
外観性状

- EJシール
主剤：黒色 / グリース状
硬化剤：淡黄色透明 / 液状
- EJシール促進剤
無色透明 / 液状
- フィンガーシールプライマー
淡褐色 / 液状
- 混合物
黒色 / グリース状



▲ 混合物

施工方法



▲ 施工断面のイメージ

① 表面処理

施工前に必ず接着面の表面処理を行ってください。接着面の汚れ、油脂分などをサンダー、ワイヤーブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。接着面が濡れている場合は、プロパンバーナー、電気ドライヤーなどで乾燥させます。

② バックアップ材挿入

バックアップ材を適正なシーリング寸法に合わせて挿入設置します。遊間が40mm以下の場合は、深さ20mmとしてください。遊間が40～100mmの場合は、遊間：深さ＝2：1としてください。

③ 養生テープ貼り

補修部周辺の汚れを防ぐため、遊間の縁に養生テープを貼ります。

④ プライマーの塗布

被着体との接着を向上させるため、フィンガーシールプライマーをハケ塗ります。鋼材面は0.10 kg / m²、コンクリート面は0.15 kg / m²塗布します。EJシールが接するバックアップ材にも塗布します。

⑤ 充てん

ヘラ・コテなどで遊間にEJシールを充填します。充填箇所に隙間がないよう押さえを十分に行います。

⑥ 仕上げ・養生テープ撤去

充てん後、すみやかにヘラで仕上げながら、表面の凹凸をなくします。すべり抵抗が必要な場合など必要に応じて、表面に珪砂または石粉を散布します。仕上げ完了後、ただちに養生テープを除去し、養生します。

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ 製造元

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL. 049 (225) 5611 (代表)

■ 販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL. 03 (6861) 8101 (代表)

● 取扱店